



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

擁壁をつくりました

地元の声

- ・大雨の時は山が崩れるのではないかと不安。(近隣住民)
- ・早く工事をしてほしい。(近隣住民)

事業前

- ◆斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがありました。



事業後

- ◆擁壁をつくることにより、落石や崩落した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減しました。



事業の概要

- 事業箇所：南牧村千原
- 事業内容：擁壁工 延長128.0m
防護柵工 延長109.6m
- 事業期間：平成25年度～令和2年度



事業の進捗状況 (令和2年度完了)



今、何をしているか

令和2年度に擁壁工事が完成し、事業が完了しました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了